

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	河越館跡地等の整備・活用						継続				
コード	24	-	85	-	03	-	00	予算事業名	河越館跡整備		
担当部署	教育総務部	文化財保護課			調査担当		予算事業コード	会計 10	款 10	項 06	目 04

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合			法令による実施義務			義務ではない		
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	河越館跡地等の整備・活用							
方向性(節)	3節	歴史文化の継承と新しい市民文化の創造	個別計画等の名称	なし							
施策	2	文化財の保存・活用	当事業に関連する事務事業	なし							
細施策	5	河越館跡地の整備・活用									
事業実施の根拠となる法令・条例等	文化財保護法・川越市文化財保護条例										

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	国指定史跡河越館跡を史跡公園として保存整備し、郷土学習の場、市民の憩いの場として活用する。										
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	史跡指定地内の公有地化を進め、発掘調査によって史跡内容の確認を行う。調査指導委員会・整備検討委員会の指導に基づき整備計画を策定した後、整備工事を行う。整備が完了した部分については管理および普及のための活用事業を実施する。										

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	20,007	19,853	16,848	9,758	9,478	
(25年度予算額大幅増/減の理由)						
事業費 A	20,007	19,853	16,778	9,265	9,478	13,992
人件費 B	9,538	9,538	12,473	10,272	10,272	10,272
総コスト(C=A+B)	29,545	29,391	29,251	19,537	19,750	24,264
正規職員(1年間の従事人数)	1.30人	1.30人	1.70人	1.40人	1.40人	1.40人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	3,621	4,050	2,100	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	25,924	25,341	27,151	19,537	19,750	24,264

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
活動 史跡公園整備率	%	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30年度 100.0
指標の定義・説明	整備した公園面積が、史跡全体面積(宗教法人施設を除く)に占める割合						
活動 活用事業実施件数	件	0	1	1	1	1	30年度 5
指標の定義・説明	河越館跡(未整備地も含む)で行った活用事業の件数						
活動 史跡公園の年間利用者数	名		6,540	7,859	7,687	7,700	30年度 8,000
指標の定義・説明	作業員が執務する1日4時間での入園者数の累積人数						
指標に基づく評価	第1期整備地は平成21年度は史跡公園として開園し、史跡公園として多くの方に利用されている。また、活用事業としての河越流鏑馬を年1回開催している。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題										
公有地化されていない公園用地の取得し第2期整備に向けての準備を進める。また、ガイダンス施設の設置・現在借地で対応している駐車場用地の取得も今後の課題である。											
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)											
寄居町の国指定史跡鉢形城跡では、平成14~16年度にかけて第1期整備事業を行っている。ガイダンス施設である歴史館・休憩施設・大規模駐車場を備えた史跡公園として平成16年10月に開園した。											
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響											
本事業を廃止・縮小した場合、公園利用・活用事業の要となるガイダンス施設・駐車場を設けることができず、利用者に不便をかけることが予想される。											

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				文化財保護課	管理担当・調査担当
事務事業名称		24	85	03	00	河越館跡地等の整備・活用	
今後3年間の方向性	25年度	改善(見直し)		整備が完了すれば、より多くの利用者が見込めると思われるがそれまでの間、駐車場を含め河越館跡の有効活用を図るため、市民へのPRや教育機関、公民館等への団体利用の呼びかけ、地元との共同イベント開催などを行っていく。併せて2期整備を推進する。			
	26年度	継続					
	27年度	継続					